

## ～リチウムイオン電池の火災に注意～

携帯端末などを外出先でも充電できるモバイルバッテリーなどが急速に普及し、これらに使用されるリチウムイオン電池からの火災が増えています。

### リチウムイオン電池搭載製品の注意ポイント

#### ①衝撃を与えない 落下させない

リチウムイオン電池は外部からの衝撃が加わり、へこむなどすると内部ショートが生じ、発煙や発火につながります。手をすべらせて落下させたり、ポケットに入れたまま座って体の下敷きになると事故になることがあります。

#### ②リコール対象製品は使用を中止する

リコール対象製品は不具合が生じていなくても使用を中止し、販売店や製造業者に連絡をしてください。

#### ③製造・輸入・販売事業者が確かな製品を購入する

インターネットで購入したリチウムイオン電池搭載製品の事故が多く発生しており、事故発生後に事業者にお問い合わせようとしても連絡先が不明である場合があります。

また、ノートパソコン等のリチウムイオン電池搭載製品は、製品本体と電池の両方の制御機能で安全かつ最適な機能を実現できるよう設計されています。組合せによっては制御機能が正常に働かず事故に至るおそれがあるため、純正品の使用が推奨されます。

#### ④一般ごみなどと一緒に捨てない

一般ごみなどと一緒に廃棄されると、ごみ収集車で圧縮されることで火災につながる場合があります。適切に処分しましょう。

### こんな事故が発生しています！

携帯用扇風機を落下させたことにより、バッテリー内部に強い衝撃が加わったことで異常発熱につながり出火した。

足を滑らせてしりもちをつき、ズボンの後ろポケットに入れていたスマートフォンのバッテリーパックが破損したことで短絡(ショート)を起こし、衣類に着火した。

実験画像は  
こちらから



実験画像は  
こちらから



(NITE提供)

## 消防自動車3台を更新

令和5年3月に「高規格救急自動車」「指揮車」及び「水槽付消防ポンプ自動車」が更新され、運用を開始しました。

高規格救急自動車のリアウインドウに設置された電光掲示板は、走行時や救急現場での活動を表示することで、住民の皆様のご理解とご協力を得るとともに、スムーズな現場活動に繋がる手助けになっています。

水槽付消防ポンプ自動車には、1,500Lの水や、圧縮空気泡消火装置(Compressed Air Foam Systems)「略称:CAFS(キャフス)」を搭載し、水に少量の消火薬剤を加え、圧縮空気を送ることにより発泡させる装置で、水の表面積を広げ効率よく消火することができます。また、人命救助に必要な救助用資機材を積載することで災害対応能力も向上しました。



高規格救急自動車



電光掲示板



指揮車



水槽付消防ポンプ自動車